

COOL KIT-D (高圧ポンプタイプ)



高圧ポンプ本体と
水道給水ホースセットの
取扱説明書も
併せてお読みください

取扱説明書

このたびは、お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本書は大切に保管してください。


もくじ

安全上のご注意	1	オイル交換と残量の確認	9
商品内容をお確かめください	2	片付けと保管について	10
設置例のご紹介	3	水道給水ホースを延長するときは	10
作業に入る前に	3	こんなときは	11
準備作業	4~7	仕様	12
使い方	8~9		



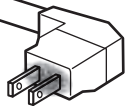
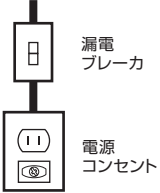
安全上のご注意


ご使用の前に

本説明書では、ご使用者への危害や損害を未然に防ぐための注意事項を「警告」と「注意」に分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告  取扱いを誤ると、死亡又は重傷などを負う可能性が想定される内容です。

注意  取扱いを誤ると、傷害又は物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

警告 	
<p>使用温度範囲(5~45℃)外でのご使用はおやめください。 破損又はノズルが飛び出して、怪我をする恐れがあります。</p>	<p>人が往来する場所に設置しないでください。 お子様が近づかないよう配慮してください。</p>  <p>本体を倒したり、電源コードやホースが足に引っ掛かると、怪我や本体損傷の原因になります。</p>
<p>空(通水していない状態)運転をしないでください。 水道水を流さない状態で運転すると自動停止しますが、ポンプの寿命が短くなります。空運転は絶対にしないでください。</p>	<p>凍結する場所でのご使用はおやめください。 破損又はノズルが飛び出して、怪我をする恐れがあります。</p>
<p>電源プラグの先端にホコリが付いているときは、取り除いてください。 火災の原因になります。</p> 	<p>本製品用の電源には、漏電ブレーカが設置されている電源をご使用ください。</p> 
<p>ポンプは直射日光に当てないでください。 高温によってポンプの作動に支障を来し、寿命が短くなります。また、ゴムカバーが劣化し、破損や変形の原因になります。</p>	

注意 	
<p>ポンプは火気の近くに設置しないでください。 雨や水のかかる場所での使用もおやめください。 感電・漏電、変形の原因になります。</p>	<p>電源コードを傷つけたり、破損、無理な曲げ、引張り、ねじることはしないでください。 断線して火災、感電する恐れがあります。</p>
<p>交流100V以外では使用しないでください。 火災・感電の原因になります。</p>	<p>不安定な場所には設置しないでください。 転倒による変形や感電・漏電の恐れがあります。</p>
<p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず必ずプラグを持って引き抜いてください。 断線して発火することがあります。</p>	<p>使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 絶縁劣化による感電・漏電、火災の原因になります。</p>
<p>定期的に部品各部を点検し、少しでも異常や破損を発見したときは使用を中止し、販売店にご相談ください。</p>	

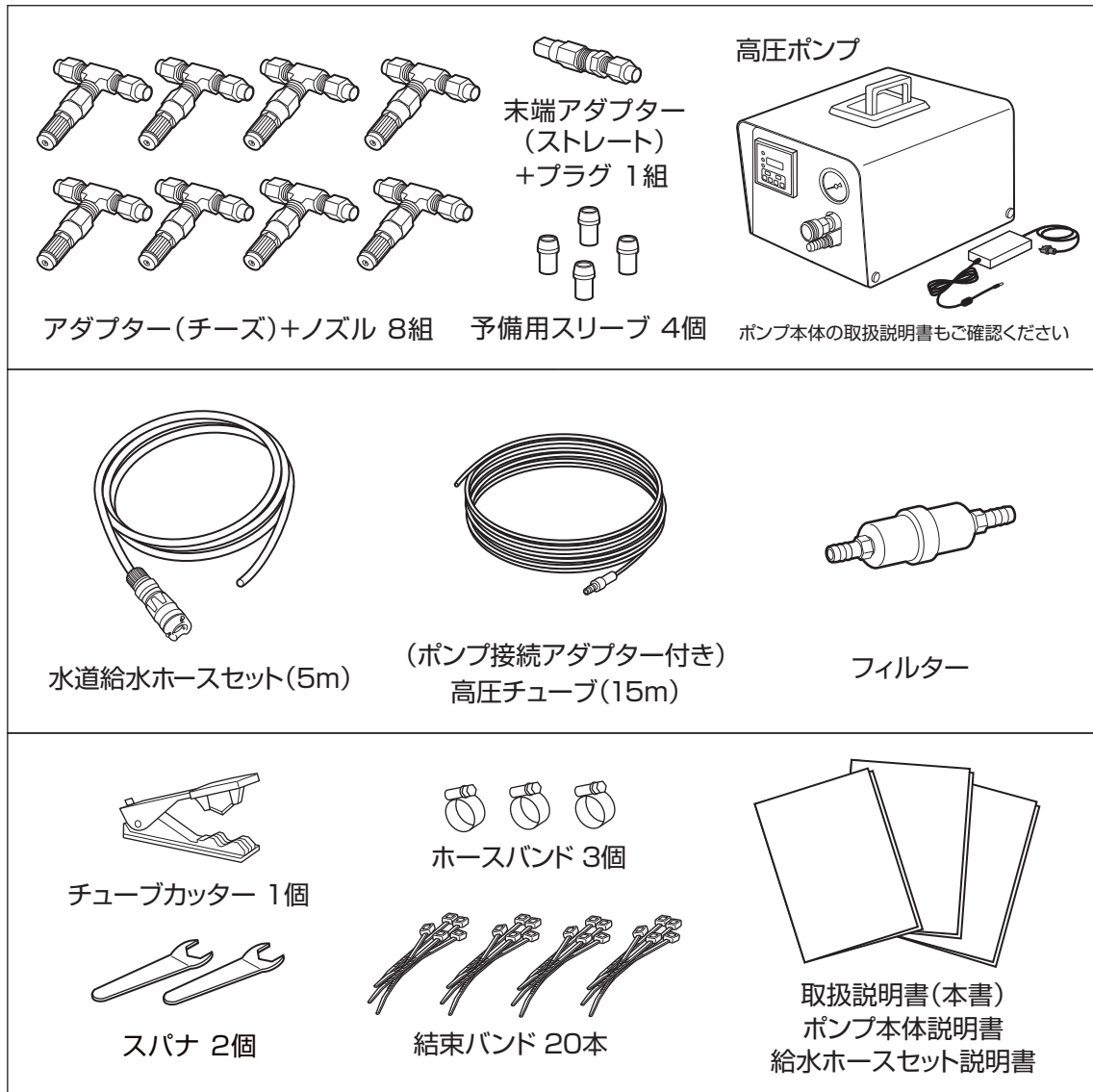
- ・本機は防爆仕様ではありません。
- ・水道水以外の液体は使用しないでください。
- ・保守、点検、修理は知識、技能を持った人が作業してください。
- ・異常が発生したときには、直ちに運転を停止してください。
- ・差込みプラグの接続は確実に行ってください。

- ・周囲の状況に応じて危険予知に心がけてください。
- ・電源コードを角張った所に当てないでください。
- ・電源コードの上にものを乗せないでください。
- ・電源コードに油や水がかからないようにしてください。
- ・落下で危険が生じる場所には設置しないでください。

商品内容をお確かめください

お届けした商品の中身をお確かめください。

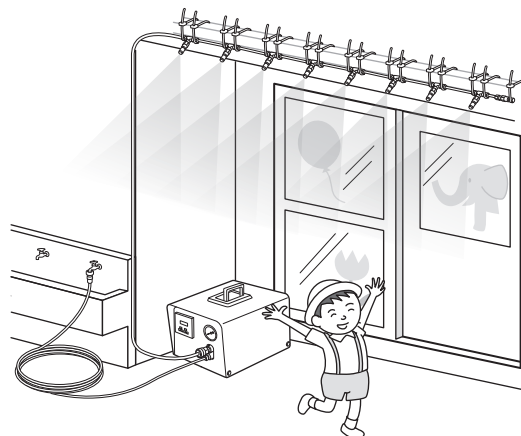
万一足りない部品がありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。



設置例のご紹介

例えば、こんなところに

本製品は、暑さを和らげ、ひとときの涼感を演出します。
施設内の建物設備等、屋外・半屋外の冷房にお役立てください。



作業に入る前に

警告 

漏電ブレーカが付いている電源をお使いください

本製品は、噴霧による水分で、高い湿度環境で使用されます。万一の電気系統の故障を防ぐために、ポンプ用の電源コンセントは、大元に必ず漏電ブレーカが入っている電源をお使いください。

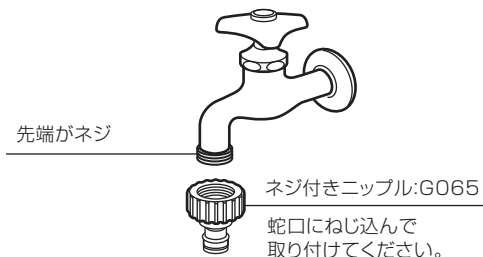
準備作業

水道給水ホースセットのつなぎ方

標準的な蛇口への接続は、水道給水ホースセットの取扱説明書1～3ページをご覧ください。

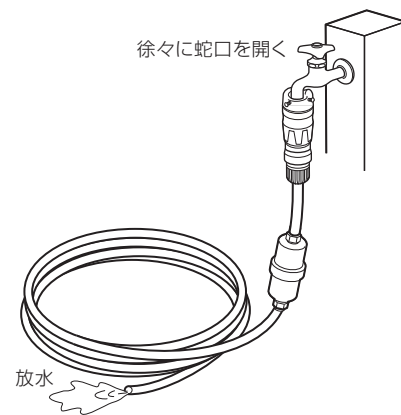
※蛇口の先端がネジになっているとき

水道蛇口の先端がネジ式になっている場合は、市販のネジ付き蛇口ニップルが必要です。専門メーカー(株)タカギ製ネジ付き蛇口ニップル(品番G065)又は他社の相当品をお買い求めください。



ゴミの洗い流しと水漏れの確認

ホースの中のゴミやホコリは、ノズルの目詰まりの原因になります。水道給水ホースをポンプにつなぐ前に、必ず水道栓を開いて放水し、ホース内のゴミやホコリを流し出してください。放水の際は蛇口を少しずつ開いて、ニップルから水漏れがないか確認してください。水が漏れるときは、ニップルを取り付け直してください。通水後は、水道栓を閉じてください。

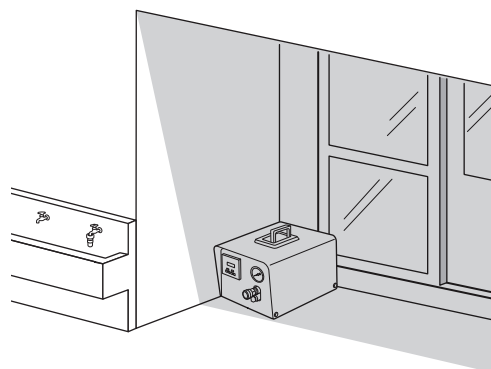


高圧ポンプの設置場所

ポンプの設置面寸法は、幅22×奥行36cmです。

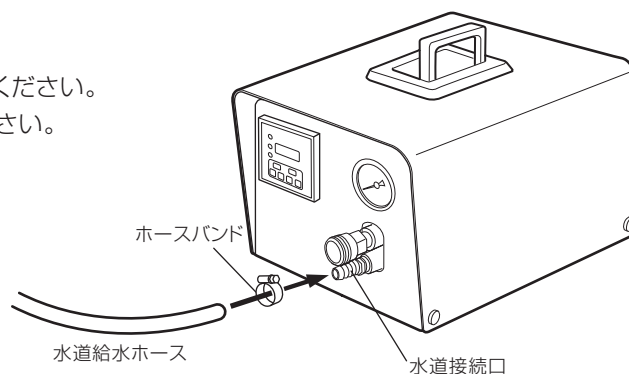
注意 ⚠️ ポンプは屋外仕様ではありません。屋外でご使用される場合は、直射日光や雨が当たる場所には設置しないでください。

注意 ⚠️ ポンプは、凹凸がある不安定な場所には設置しないでください。



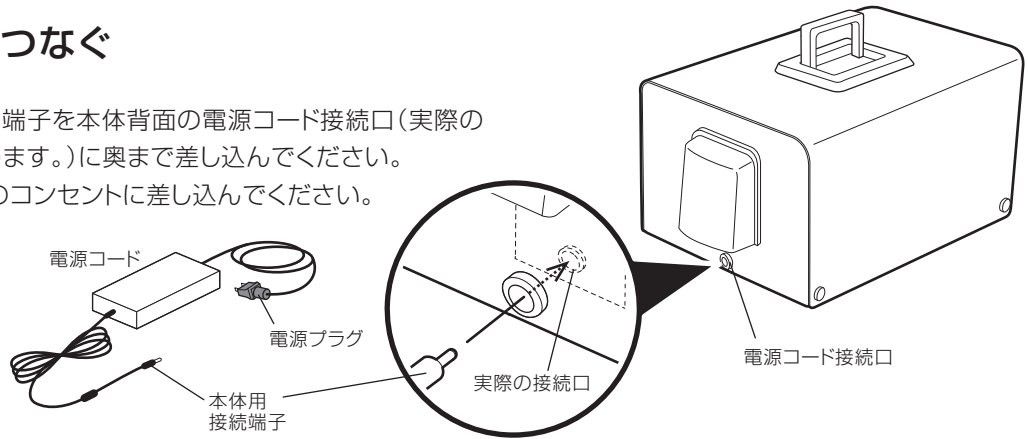
水道給水ホースと高圧ポンプのつなぎ方

水道給水ホースにホースバンドを通して、ホースの先をポンプの水道接続口に差し込んでください。ホースは水道接続口の縁に当たるまでしっかり差し込んでください。ホースバンドはネジ部をドライバーでしっかりと締めてください。




ポンプの電源をつなぐ

電源コードの本体用接続端子を本体背面の電源コード接続口(実際の接続口は本体内部にあります。)に奥まで差し込んでください。
電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込んでください。



警告  本機は、必ず大元に漏電ブレーカが入っている電源につないでください。

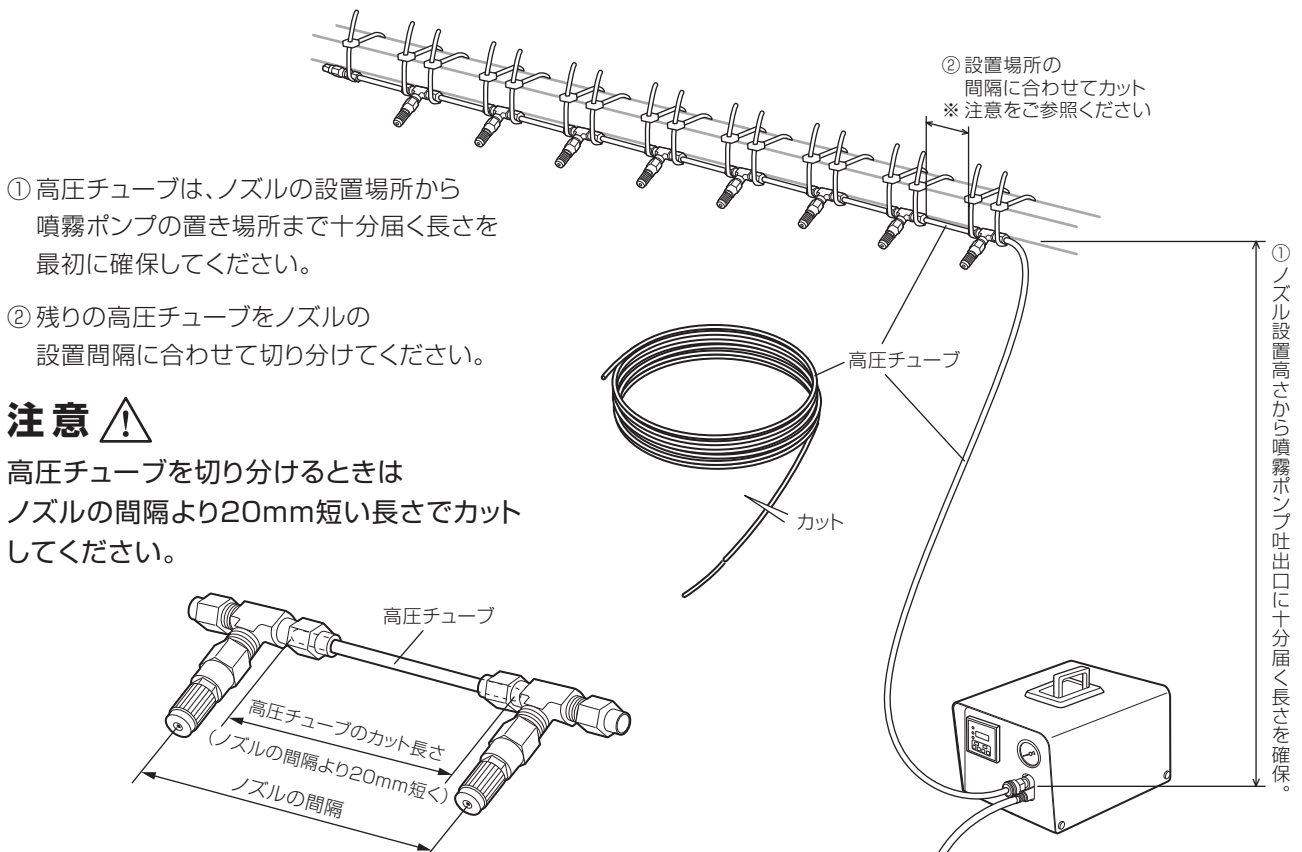
注意  ポンプは空運転による故障を防止するために、水道の蛇口が開いていないとき(水道圧がかからないとき)は、ポンプ内の圧カスイッチが働いて、ポンプが作動しません。
ポンプを運転する際は、必ず先に水道の蛇口を徐々に開きながら全開状態にしてください。

高圧ポンプの運転準備

高圧ポンプの運転準備作業につきましては、ポンプ本体の取扱説明書に記載しています。
ポンプ本体の取扱説明書の6～10ページをご覧ください。

噴霧部分の構造

本製品の噴霧部分は、ノズルの間を高圧チューブで連結する構造です。
付属の高圧チューブ(15m)は、設置する場所に応じたノズルの間隔に合わせてカットしてください。

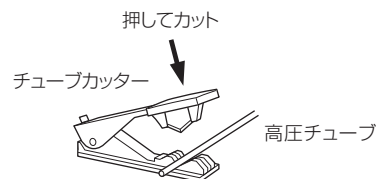
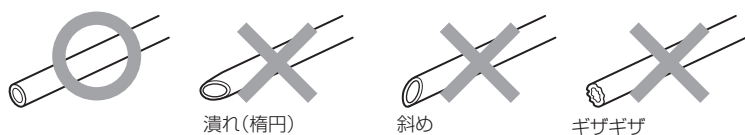


高圧チューブのカット方法

高圧チューブは、必ず直角にカットしてください。

先端が潰れや斜め、ギザギザの状態では、水漏れや外れの原因になります。

高圧チューブのカットには、付属のチューブカッターをお使いください。



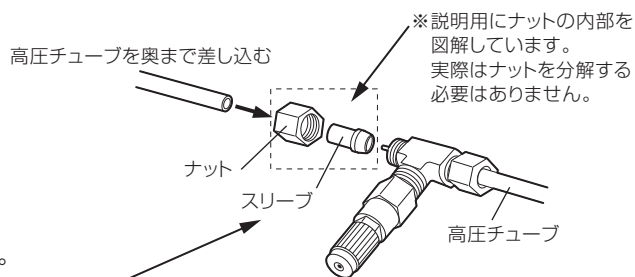
アダプターの接続

カットした高圧チューブをアダプター（チーズ）と末端用アダプター（ストレート）に接続します。

① アダプターのナット部分に高圧チューブを差し込みます。

高圧チューブの先端がアダプターの奥に当たるまで（約15mm）差し込んだあと、ナットを手で一杯まで締め、その後、2本のスパナで2～2.5周増し締めしてください。

ナット内部にあるスリーブによって、高圧チューブが固定されます。

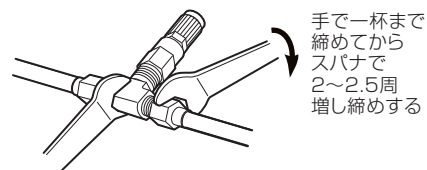


注意 ⚠

ノズルは必ず2～8個の範囲でご使用ください。

1個で使用すると、噴霧圧力が異常に高くなり、噴霧ポンプが破損する恐れがあります。

使用ノズル個数によって、噴霧圧力は若干変わります。



② ノズルの向きが揃っていないときは、一旦ナットを緩め、アダプター本体を

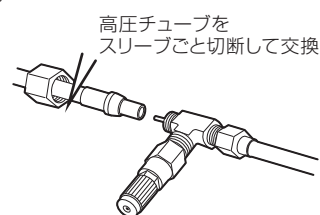
回して向きを調整したあと、手でナットを締めてからスパナで増し締めしてください。

※ チューブの長さを変える等、高圧チューブを外さねばならないときは、

スパナでナットを外したあと、付属のチューブカッターでチューブを切断し、

予備のスリーブに交換して、再度上記①、②の方法で高圧チューブを接続してください。

スリーブには方向性があります。上図のスリーブ形状を確かめて挿入してください。

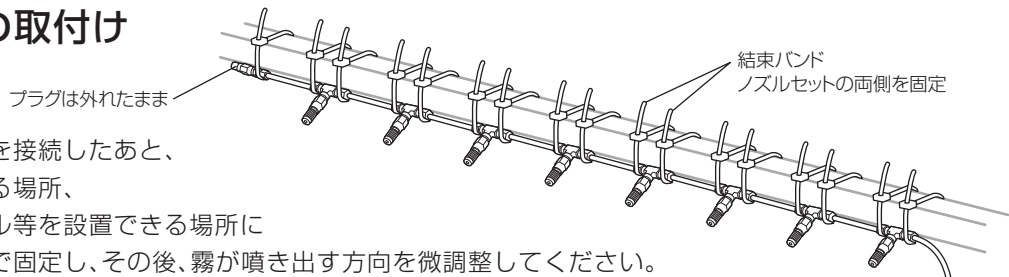


③ 末端アダプターのプラグを手で回して外してください。

プラグは次の作業のあとに再度取り付けますので、無くさないようにしてください。



アダプターの取付け

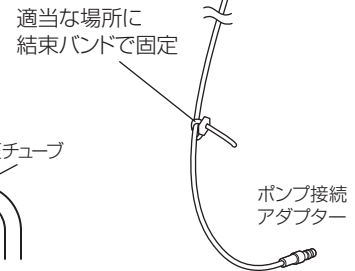
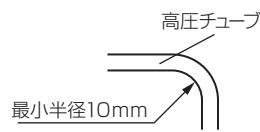


全てのアダプターを接続したあと、
梁や雨とい等のある場所、
又は横向きにポール等を設置できる場所に
付属の結束バンドで固定し、その後、霧が噴き出す方向を微調整してください。

注意 ⚠️ 結束バンドは、アダプターの左右両側で固定してください。
高圧チューブを固定すると
ノズルが動いて噴霧方向が安定しません。

注意 ⚠️ 高圧チューブを下に垂らす部分も足が引っ掛からない
ように結束バンドで固定することをお勧めします。

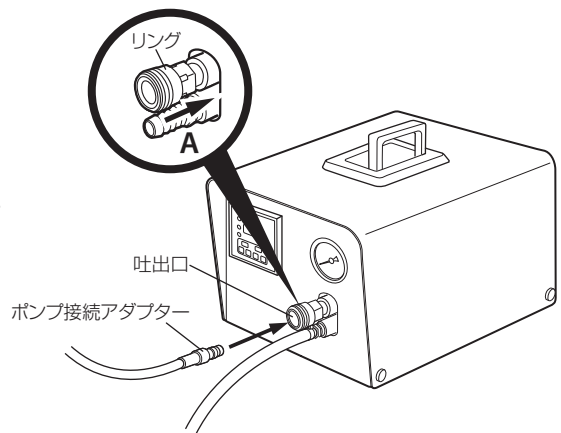
注意 ⚠️ 高圧チューブを曲げて設置するときは、
半径10mm以上で曲げてください。
曲げ半径が小さすぎると、チューブが折れて
水漏れの原因になります。



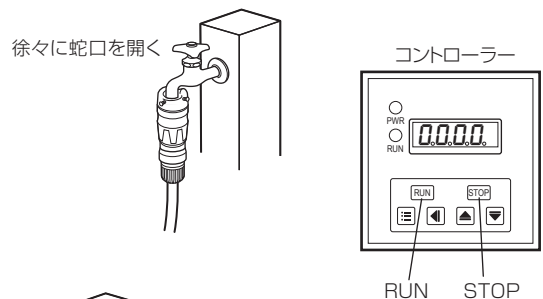
注意 ⚠️ 高圧チューブは樹脂製です。角張った場所や振動する場所に取り付けると傷が付き、
水漏れの原因となります。布やスポンジを当てて養生してください。

高圧チューブと高圧ポンプのつなぎ方

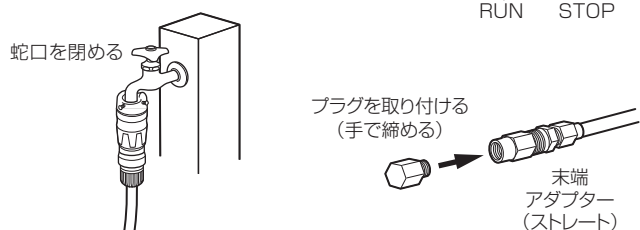
- ① ポンプ吐出口先端のリングを右図のAの方向に押しながら、
高圧チューブのポンプ接続アダプターを差し込んでください。
- ② チューブ内部の洗浄とチューブ内をエア抜きするために
水道の蛇口を徐々に開き、コントローラーの **RUN** を
押して、末端アダプターの先端から水が出るまで運転して
ください。



注意 ⚠️ 洗浄の際、末端アダプターから下に水が落ちます。
床面にバケツを設置するなど、
水濡れ対策をお願いします。



- ③ 最後に **STOP** を押して、水道の蛇口を閉め、
末端アダプターにプラグを取り付けてください。
プラグは手で一杯まで締めるだけで取り付けます。



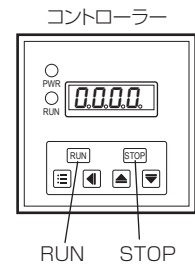
使い方

噴霧の開始

前ページまでで準備作業は完了しました。

水道の蛇口を徐々に開いて、コントローラーの **RUN** を押せば噴霧が始まります。

再度全ての接続部分について、水漏れがないかご確認ください。



このとき、ポンプの圧力計(吐出圧力)が、5MPaになっていることをお確かめください。

万一、吐出圧力が高いときや低いときは、ポンプ本体の取扱説明書11ページをご覧ください、ポンプの調圧弁を操作して、5MPaになるまで圧力を調整してください。

日常の噴霧について

- ① 水道の蛇口を開いてください。
- ③ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ④ **RUN** を押してください。

※噴霧シーズン中は、ホコリやエアーの侵入を防止するために、

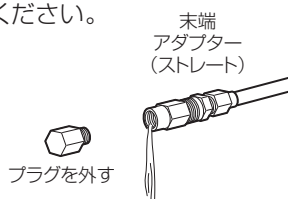
水道給水ホースはつないだままの状態にすることをお勧めします。

やむを得ず水道給水ホースを外すときは、ホコリが入らないようにご注意ください。

注意 ⚠ 天候の不具合等で数日間噴霧を停止したあと、再度運転するときは、本機内部に残った水が腐敗している可能性があります。

末端アダプターのプラグを外してから水道の蛇口を徐々に開き、**RUN** を押して、数分間洗浄排水してください。

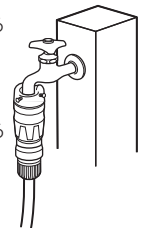
洗浄作業終了後は **STOP** を押して水道の蛇口を閉めてから末端アダプターのプラグを取り付け、運転を再開してください。



徐々に蛇口を開いてから

RUN

STOP を押してから
蛇口を閉める



短時間の噴霧の停止

少しの間、噴霧を停止するときは、**STOP** を押してください。

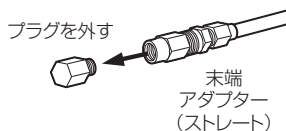
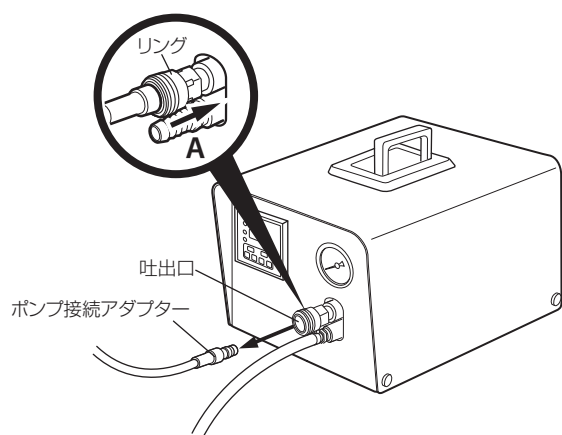
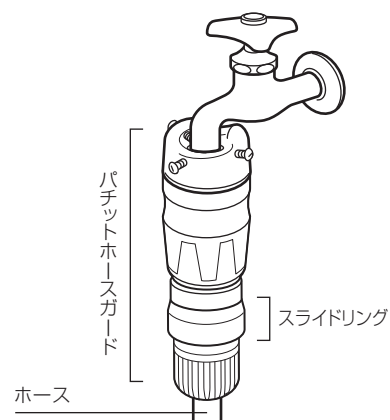
噴霧を再開するときは **RUN** を押してください。

警告 ⚠ 1分以内の短時間で **RUN** / **STOP** の繰り返しはおやめください。ポンプ故障の原因になります。

長時間の噴霧の停止

シーズンオフ等で長期間噴霧を休止するときは、水の凍結や腐敗を防止するために、以下の方法で水抜きしてください。

- ① 水道の蛇口を閉めてください。
- ② 水道給水ホースを蛇口から外します。
パチットホースガードのスライドリングを持ってホースを下に引き抜いてください。
- ③ 吐出口のリングを下図のAの方向に押すと高圧チューブが外れます。
末端アダプターのプラグを外すと、高低差によってポンプ接続アダプターから水が出てきます。
しばらく放置して、チューブ内の水を出し切ってください。



ポンプの故障診断は、ポンプ本体の取扱説明書15ページをご覧ください。

オイル交換と残量の確認

警告 

ポンプには、潤滑用にオイルを使用しています。
初回のオイル交換は、必ず使い始めから1000時間で行ってください。
以降は2000時間ごとに、必ずオイルを交換してください。
オイルがなくなるとポンプが焼付きを起こします。
ポンプ本体の取扱説明書の13ページをご覧ください、
小まめにオイルの残量をチェックして、適宜補充してください。

使用オイル:SC級SAE#30

片付けと保管について

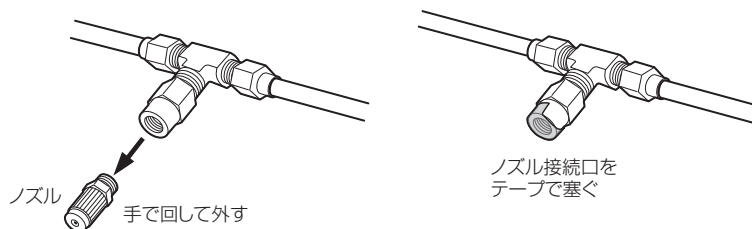
本製品を片付けるときは、
9ページ「長時間の噴霧の停止」の作業を行ってください。

ノズル部分も含め全体を外して屋内での保管をお勧めしますが、
やむを得ず屋外に設置した状態で保管される場合は、凍結による損傷を防ぐために、ノズルだけを外してください。
ノズルのネジは手で回すだけで外れます。

外したノズルはタオル等で水分を拭き取り、ホコリが目詰まりしないように、ビニール袋等に入れて保管してください。
ノズルを外したあとの接続口は、ホコリ等の侵入を防ぐためにセロテープ等で塞いでください。

ポンプは水道給水ホースが繋がった状態で、直射日光が当たらない屋内に保管してください。

次のシーズンにノズルを取り付ける際も手で一杯まで締め付けるだけで固定できます。



注意 ⚠️ ノズルの先端を釘・針等の硬い物で傷つけないでください。
ノズルに強い力や衝撃を与えないでください。

注意 ⚠️ ノズルを再度取り付けるときは、
事前に必ず高圧チューブを通水し、内部のホコリを洗い流してください。

水道給水ホースを延長するときは・・・

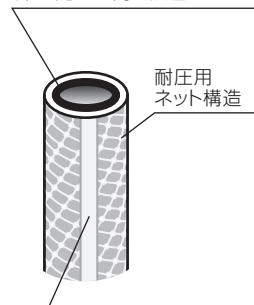
⚠️ 水道給水ホースを延長する際は、**耐圧防藻ホース**をお選びください

延長用ホースは、TOYOX製トヨデリバー(品番TW-12)、
または内径12.7mmの**耐圧防藻ホース**をお選びください。
延長用の継手には、(株)タカギ製パチットホースジョイント(品番G039)と
コネクター(品番G079)、又は他社の相当品をお買い求めください。

耐圧防藻ホースとは・・・

通常のビニールホースは、内部に残った水から必ず藻が発生します。
本製品は、非常に小さな霧を作るために精密なノズルを使用していますので、
ホース内に藻が発生した場合、ノズルが詰まって故障の原因となります。
耐圧防藻ホースは、藻の発生を抑える機能を備えた特殊ホースです。
水道給水ホースを延長される際は、必ず耐圧防藻ホースをお買い求めください。

藻の発生を防ぐ黒色チューブ



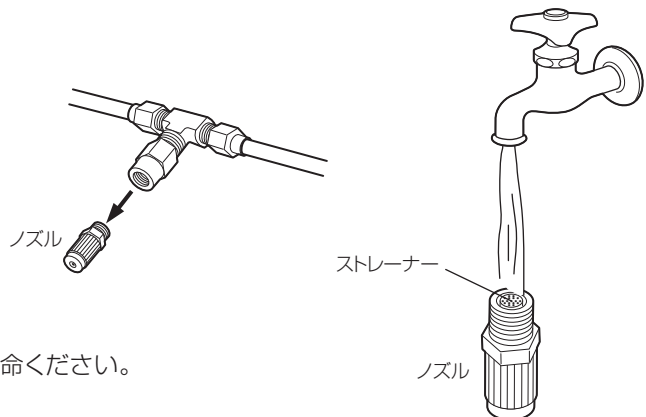
TOYOX製トヨデリバーの場合、
耐圧防藻の目印として、
ホース側面に黄色の縦ラインが
入っています。

こんなときは・・・

症 状	ご確認ください	対処方法
霧が出ない	ノズル、ストレーナーが目詰まりしている	下記の要領でストレーナーを掃除してください。それでも直らないときは、ノズルを交換してください。
	水道の蛇口が開いていない	水道圧がかからないとポンプが作動しません。必ず水道の蛇口を開いてください。
	ノズルのネジ締めが不十分又はネジが緩んで水が漏れている	ノズルを増し締めしてください。
	ホースが外れている	水道給水ホース/高圧チューブをつないでください。
	電源が入っていない	コントローラーの RUN を押してください。
ノズルから水滴が落ちる	霧の出口付近の異物付着	霧の出口を柔らかい布で拭いてください。それでも直らないときはノズルを交換してください。
電源が入らない	電源プラグが外れている	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
ポンプから水が出ない 又は ポンプの圧力が上がらない	ポンプ本体の取扱説明書の15ページをご覧ください	

ストレーナーの清掃

ストレーナーはノズルの中にあります。
 ストレーナーは外せませんので、
 ノズルについたまま、上から流水で
 ゴミを洗い流してください。
 洗浄後はアダプターにしっかりと取り付け、
 噴霧の状態を確認してください。
 改善が見られないときはノズルを交換してください。
 交換用ノズルはお買い上げの販売店又は弊社窓口にご用命ください。



交換用ノズル品番:#259864

仕 様

項 目	仕 様	
ポ ン プ	使用場所	屋内仕様 (5~45℃)
	定格電源電圧	AC100V
	周波数	50/60Hz
	モーター容量	110W
	使用圧力	5.0MPa
	使用温度	5~45℃
	吐出量	18ℓ/hr
	質量	約8.5kg
	外形寸法	W212×H233×D356mm
ノ ズ ル	型式	KBC(#259864):Bs+メッキ
	1個あたりの噴霧量	約 2.1ℓ/hr(噴霧圧5MPa時)
	質量	約 8.5g

機能更新のため予告なく仕様変更する場合があります。ご了承ください。